

留学報告書

～留学させてくれてありがとう～

ペンシルバニア・インディアナ大学
外国語学部生(中期延長)

私は留学して本当に良かったと思っています。辛かったことや大変だったことも含めて、本当に良かったと思っています。まず、留学する前の自分とはとにかく不安しかなかったです。誰よりもきつと不安でした。なぜかという、ペンシルバニア大学に行くのが一人で且つ自分に自信がなかったからです。TOEFL の点も自分が納得いく点ではなく、話せるといっても簡単な言葉しか出てくず、言葉が詰まってしまうことが多かったからです。そして、その不安が私の場合、顔に出てきて、ニキビや体調にも影響が出ていました。全部、自分に自信がなかったからです。親からのプレッシャーなどもあり、留学する前は怖くて仕方がありませんでした。友達に大丈夫だからと言われていたのですが、どうしても不安は消えませんでした。結果、銀行で知らない人の前で泣いてしまったこともあります。そして、ついに留学する日がやってきたときは、緊張でどうにかなってしまいそうでした。インディアナ大学に着くまでは緊張で一睡もできませんでした。でも、寝なかったおかげで時差のせいで寝られないことはありませんでした。それからの一週間はオリエンテーションばかりで、人の話を聞いているだけだったのですが、聞こえてくる英語があまりにも早く、ついていけませんでした。正直自分はリスニングには自信があったので余計辛かったです。それから、クラス分けテストが行われ、私は ESL でもトップクラスに入ることができました。授業が始まって気づいたことは、私のライティングのスキルが低すぎることです。皆の書き進めていく速さと正確さに驚かされました。そして、私は一つのゴールをある先生に伝えました。それは、単語量を増やすことと、自信のあるレポートが書けるようになることです。大きく分かれて、リスニングのクラス、ライティングのクラス、そしてプレゼンのクラスがありました。その中でもライティングは本当に苦戦しました。いつも私が書いていた250字なんて比じゃないです。授業始まって初日に今の気持ちとこれからどう過ごすかを300字で20分以内に書けと言われ、まったく書けなかったです。一つのクラスでレポート提出は週に1回は必ずありました。それが辛かったですが、ずっと続けていると何か変わるのではないかと期待して必死に書いていました。それから、友達とも仲良くなり始めて、日々が徐々に楽しくなり始めました。留学しに来ている人たちは話すレベルが自分と同じくらいで恥とかもなく積極的に話そうとしていました。それから1か月経って、変化が欲しいと思い始めて、ダンス部を探し始めました。でもなかなか見つからなくて、どうしようかと思っていたら、韓国サークルが毎年ダンスの発表をしていると聞いて、参加させていただきました。そして、現地の友達もできて、ネイティブの子とも話すようになりました。正直アメリカンジョークとか理解できなかったですけど、自分の意見とかを求められることが多くて最初は戸惑うことが多かったです。それから、また1ヶ月が過ぎダンスの発表会にも参加して、留学生や先生の前で仲間と練習した振り付けを披露しました。これで私の夢が一つかないました。とても楽しかったです。振り付けを教わるときも英語なので、新鮮でした。勉強と、このサークルを両立して大

変な時もありましたが、良い経験だったと思います。クラスで発表するプレゼンも、日本では5分が最大だったのですか、アメリカでのプレゼンは最低でも7分でした。プレゼンも少なくとも2週間に1回あって、多い時だと週に3回ありました。オーディエンスのことを考え、誰が聞くのかをまず考えて、何を本当に伝えたいのかを絞ってプレゼンを作り上げていくのが大変でしたが、どういう風に発表するのかを学びました。レポートと一緒に何度も見直して、時間をかけて作っていくのが良いプレゼンだということを知りました。留学に来る前はあんなにも不安でしかたがなかったのに、留学して2ヶ月が過ぎた頃にはもう、住みたいと思っていました。大変すぎて、時間をすべて課題に費やしてしまう時もありましたが、それもいい思い出です。英語で人と話すのもますます楽しくなってきて、もっと話せるようになりたいと考えるようになっていました。でも、そんな中壁もありました。話したいことをなかなか話せなかったり、文化の違いで価値観が違ったりして、すれ違いもありましたが、思っていることを必死に伝えようとしたので、友達とは最後まで、最高の友達でいられました。留学してよかったと思えるのは友達のおかげだと思います。本当に色々な国の方と友達になれて、幸せです。国の違いは言葉にあるけど、英語でみんな意思疎通ができているのに感動しました。自分は全く、アメリカ以外の国に興味はなかったのですが、今では台湾、フランス、サウジアラビア、韓国などの国からの友達がいるので、どの国にも興味がでてきました、留学して視野が広がりました。外国人と言われたら、アメリカが一番に出てきていましたが、今はもっといろいろな国を思い浮かべます。留学して何を学んだかと聞かれたら、英語とは答えないかもしれません。勉強は当たり前なので、日本にいたら知らなかったことを学んだと伝えると思います。一つは、いまだにアメリカでは差別があるということ、黒人と白人はまだ壁があったりして、本当に驚きました。もちろん差別が消えたとは思っていませんでしたが、若者の間にはないものだと思っていました。しかし、学生でも色で差別を行っているのをこの目を見て、留学しなかったら気づけなかったことです。沢山、悲しいことや新しいことを学びました。最後の一ヶ月、私は先生に伝えたゴールを達成できたのかというと、自分では満足しています。単語はまだまだ沢山知らないものはありますが、学んだ単語一つ一つを実際、日常で使ったりして、しっかり覚えることは出来ました。レポートもまだまだ、直せるところは沢山ありましたが、書く量も増え、書くことに対して躊躇はなくなりました。先生に、このことを伝えたら、完璧なレポートはない、どんな著者でも何度も書き直すから、これからも練習しなさいと言われました。これを聞いて私は、これからも頑張っていこうと、日本に帰ってからも書くことを続けようと思いました。この4ヶ月は私にとって本当に大切な日々でした。一生の思い出となりました。モチベーションも留学のおかげで、もっと高くなりました。応援してくれた、先生、友達、そして何より、留学に行かせてくれた親に感謝しています。留学で学んだことを生かして、これから進んでいきたいと思っています。